

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『アミロイドβ、タウ病理所見の進展により分類されたヒトアルツハイマー型
認知症患者死後脳の分子細胞生物学的変化』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月以降2023年8月末日までの間に国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、死後の病理学的解析によりアルツハイマー病、顕著な神経疾患なし、その中間と診断された方。

【研究期間】

研究実施許可受領後（X年X月X日）より2026年3月31日まで

【研究代表者】 愛媛大学大学院医学系研究科 吉野祐太

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

ヒト死後脳試料を、アルツハイマー病脳の特徴的病理であるアミロイドβ、リン酸化タウの沈着の程度で4つの群に分け、各群についてRNA、microRNAの網羅的な発現解析を行います。群間を比較することにより、これらの病理構造物（アミロイドβ、リン酸化タウ）が遺伝子発現に及ぼす影響を明らかにします。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：アルツハイマー病、顕著な神経疾患なし、その中間の症例の脳組織（病理スコアに基づき選択）

情報等：性別、年齢、死後時間、RIN値、疾患名、臨床診断情報、病理解析結果

提供する試料・情報の取得の方法：試料はNCNPブレインバンクに登録され寄託された検体、情報は試料に

付随してブレインバンクに集積する情報

【共同研究機関】

愛媛大学大学院医学系研究科 吉野祐太（研究代表者）

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711（代表）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）